

CWA NEWS



11月9日(日)～15日(土)

ウィスコンシン州友好使節団が来日！ 銚子、野田、千葉市などを訪問

来る11月9日(日)から15日(土)までの7日間、「文化・芸術」、「バイオマス」、「女性のつばさ」、「観光振興」の4分野で、総勢20数名のウィスコンシン友好使節団が、千葉県を訪問し、県内各地で県民との交流を深める予定です。

ボルカのダンサーとバンドチームで構成された「文化・芸術グループ」は、10日から12日まで、銚子市周辺にホームステイし、銚子市内の小・中学校、高校、大学で、音楽を通じた交流を行います。また13日には野田市を訪問し、キッコーマン野田工場や郷土博物館などを見学します。

「バイオマスグループ」は、香取市、木更津市や京葉臨海工業地域において、バイオマスに関する専門家が意見・情報交換を行うとともに、研究所や企業の施設を視察します。

今回から新たに加わった「女性のつばさグループ」は、女性施策について、女性グループとの意見交換や視察などを通じた交流を行う予定です。

9月に米国で行われた堂本暁子千葉県知事とドイルウィスコンシン州知事との政策対話で合意された観光振興分野の連携を図るため、新たに「観光振興グループ」が、使節団に加わり、観光振興について、県の担当者らと情報交換や視察を行うことになりました。

なお、使節団を囲んで、11月9日(日)に成田市の「マロウドインターナショナルホテル成田」でウェルカムパーティー、14日(金)には千葉市の「ホ

テルポートプラザちば」でフェアウェルパーティーを計画していますので、会員の皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

<全体の日程>

11月 9日(日)	成田空港到着 夕方：ウェルカムパーティー (マロウドインターナショナルホテル成田)
10日(月) 12日(水)	各グループごとに、銚子市をはじめ県内各地で県民と交流 ・文化・芸術グループ ・バイオマスグループ ・女性のつばさグループ ・観光振興グループ
13日(木)	野田市訪問
14日(金)	夕方：フェアウェルパーティー (ホテルポートプラザちば)
15日(土)	成田空港より帰国

<文化・芸術グループの行程>



2006年の友好使節団も訪れた犬吠埼灯台(銚子市)

(連載)

ウィスコンシンと私

ウィスコンシン千葉委員会書記
ジャーニー・リター さん



Ms. Janie J. Ritter



昨秋ホームステイした青木さん、
船倉さんを囲んで

On behalf of myself, my family, and the Wisconsin-Chiba, Inc Board, I bring you warm greetings from Wisconsin where we are enjoying the beautiful colors and cooler temperatures of Fall. As the leaves on the trees change from a vibrant green to warm yellows and orange, we are also preparing to send a Goodwill delegation to Chiba. I envy this group of talented performers, scientists, and Women of Wings as they are embarking on a journey that will bring unforgettable experiences, life-long friendships, and continue a tradition which began over 18 years ago.

I fondly remember my two visits to Chiba Prefecture. After several years of preparing for the arrival of delegations from Chiba - planning itineraries, matching delegates with the appropriate home stay families; as well as preparing delegations of Wisconsin Women of Wings for their experience in Japan - it was finally my turn to make the journey to a place I had heard so much about: Chiba. My two host families: the Okada family in 2005, and the Ishii family in 2007, welcomed me into their homes, prepared delicious meals, and shared their country, culture and family life with me. Another highlight of my visits that I share with my friends, family and co-workers is the absolute honor I felt when a local group of women from the Narita area hosted a friendship dinner for us where they shared a traditional tea ceremony and invited us to wear their beautiful kimonos. The stories I brought back home to Wisconsin are memories I cherish. In fact, I am not the only member of my family that embraces the Wisconsin-Chiba exchanges.

October 2007 brought a Goodwill delegation to Wisconsin from Chiba, and my family hosted two incredible women: Yasuko Aoki and Miho Funakura. To this day, my two young sons inquire when they will visit Japan so they can see Yasuko and Miho again. Zack and Ryan enjoyed taking our guests to the pumpkin patch, and the local ice rink where they both play ice hockey. Additionally, the Hanedaiko drummers completely mesmerized fellow students at their elementary school during a performance showcasing Japanese traditional taiko drumming, music, dance and their dynamic style. Hopefully, someday soon, my husband and I will make good on our promise and will travel with our sons to the beautiful prefecture of Chiba.

Most recently, the Wisconsin-Chiba, Inc. Board has been busy preparing a Goodwill delegation to travel to Chiba this November. I am confident this talented group will be well received. I also look forward to when they return so I can hear their stories, see their photographs, and capture a glimpse of the prefecture I have come to admire: Chiba.

All my best,

Janie J. Ritter

Wisconsin-Chiba, Inc. Board Secretary

2005 and 2007 Wisconsin Women of Wings

私と私の家族、そしてウィスコンシン千葉委員会を代表して、秋の紅葉が美しく、気温も涼しくなってきたウィスコンシン州から、心からのご挨拶をお届けいたします。木々の葉が青々とした緑からあたたかな黄色やオレンジ色に変わり出したように、私達も千葉県への友好使節団派遣の準備を始めています。忘れがたい経験や生涯にわたる友情をもたらし、そして18年にもわたって続いてきた交流の伝統を今年も継続する旅に出発する今回の多才なパフォーマーや、科学者、女性のつばさのグループを私は羨ましく思っています。

私は二度の千葉県訪問を懐かしく覚えています。日程の計画、ホストファミリーのマッチングなど千葉県からの使節団受け入れに関する準備や千葉県への「ウィスコンシン女性のつばさ」派遣の準備を数年間行った後、ついに今度は、私が、これまでたくさん聞いていた場所「千葉県」へ行く番になりました。私のホストファミリーは2005年は岡田家、2007年は石井家の2家族で、両家族とも私をご自宅に快く受け入れて、美味しいお食事を準備してくださいました。そして、日本の国や文化、そして家庭生活を共有することができました。千葉県訪問のもう1つのハイライトは、成田市の女性グループが、私達への友情の印のディナーを準備してくださり、伝統のお茶を立て、美しい着物を着せてくださったことです。私はこのおもてなしを大変光栄に思っています。そしてウィスコンシン州に戻っても、友人や家族そして同僚に話し、今も懐かしく思い出します。事実、ウィスコンシン州と千葉県の交流は、私だけではなく私の家族も心から大切に思っているのです。

「グローバルフェスタ Chiba 2008」 に出展しました

8月23日(土)、千葉大学けやき会館他(千葉市)において、「あなたが世界のためにできること」をテーマに、「グローバルフェスタChiba2008」(主催：千葉県、財団法人ちば国際コンベンションビューロー、財団法人日本ユニセフ協会千葉県支部、独立行政法人国際協力機構(JICA))がにぎやかに開催されました。

国際協力について、見て、知って、楽しむことを目的としたフェスタは、作家の椎名誠さんによる講演会「異文化から再発見する日本」、エリック・ジェイコブセンさんの歌と英語のステージのほか、37団体がブース出展やステージを行い、約1,500人の来場者がありました。

私たち、千葉ウィスコンシン協会もブース出展し、ウィスコンシン州の紹介と千葉県とウィスコンシン州との交流活動報告、協会への入会案内、ウィスコンシン州に本社があるジョンソンヴィル社提供のホットドックの格安販売、資源循環型社会づくりの鍵となるバイオマスの紹介とそのアンケート調査(87枚回収)などを行いました。



本場仕込みのホットドッグが大人気
約3万円の売上げがありました



千葉ウィスコンシン協会のブースではバイオマス製品のPRも行いました

来場してくださった方々をはじめ、ユニセフやJICA、他の国際交流・協力団体とのふれあいは、楽しく、刺激になったことも、大きな収穫でした。当協会の会員でもあるジョンソンヴィル社にこの場を借りてお礼申し上げます。

当日朝早くから準備し、汗を流した奮闘の甲斐あり(?)、当協会への新規入会者がありました。

(運営委員 石井 崇子)

2007年10月には千葉県友好使節団がウィスコンシン州に来られ、私の家族はお二人の素晴らしい女性—青木靖子さんと船倉美穂さん—をホストいたしました。今でも二人の息子達は、「靖子さんと美穂さんにまた会うためにいつ日本に行けるのか」と聞いてきます。ザックとライアンは、お二人をカボチャ畑や自分達がアイスホッケーの練習をしている地元のアイスリンクにお連れしたことが楽しかったからなのです。さらに、はね太鼓の皆さんは、彼らの学校で日本の伝統的な太鼓の演奏、音楽、踊り、そしてダイナミックな演奏スタイルを披露して、小学生達をすっかり魅了しました。近い将来、できれば主人と私は、約束を果たして息子達と一緒に美しい千葉県へ旅行したいと願っています。

このところウィスコンシン千葉委員会は、この11月に友好使節団を千葉県へ派遣する準備で忙しくしています。私は今回の多才なグループはきっと歓迎されると信じています。また、彼らが帰国した時には、お土産話を聞き、写真を見て、私がファンになった県、千葉県の様子を少しでも知ることができることを楽しみにしています。

ウィスコンシン千葉委員会 書記

ジャーニー J リター

2005年度・2007年度ウィスコンシン女性のつばさ 団長

これからの行事のご案内

第33回いちかわ市民まつりに参加します

昨年は17万人が参加した大規模な行事です。8月23日(土)に参加した「グローバルフェスタ Chiba2008」同様、当協会としては、初めての参加となります。特に、今年は、「第3回健康都市連合国際大会」の市川市開催を記念し、約200団体が参加する予定です。

日 時：平成20年10月18日(土) (雨天の場合は10月19日(日))

午前10時～午後4時

会 場：大洲防災公園 (JR総武線市川駅から徒歩15分)

駐車場はありませんが、以下の各駅から10～25分間隔で無料シャトルバスが運行されます。

○ JR総武線市川駅南口、本八幡駅南口 ○ 東京メトロ東西線妙典駅、南行徳駅

主 催：市民まつり実行委員会 (☎047-704-0057)



第3回バーベキューパーティーを開催します

日 時：平成20年11月29日(土) 午前11時～午後2時

会 場：習志野市香澄公園

(習志野市香澄3-6丁目 ☎047-454-1823)

新連載

ミニコラム～会員による自由なテーマによる投稿です。
第1回は、今年度から運営委員となった渡辺 健一郎さんのコラムです。

「バイオマスって？」

千葉県環境生活部資源循環推進課

バイオマスプロジェクトチーム 渡辺 健一郎
(千葉ウィスコンシン協会運営委員)

私は、今年4月より「ウィスコンシン」、「国際」、「バイオマス」と、今まで接点もなかった業務に携わることとなり、激動(?)の日々が続いているのですが、両方の業務に精通するM運営委員長をはじめとした運営委員の皆さん、職場の皆さんのお力をいただいて何とか半年を過ごしました。

さて、「バイオマス」という言葉を初めて聞いたという方もいらっしゃるかと思います。なぜ、このCWA NEWSでバイオマスについて説明させていただくのかというと、平成16年度に千葉ウィスコンシン協会が設立されて以降、バイオマス分野で友好使節団の派遣・受入が相互に行われ、私が所属す

るバイオマスプロジェクトチームもその一環で携わっているからです。

バイオマスとは「再生可能な、生物由来の有機性資源で、石油・石炭などの化石資源を除いたもの」と定義され、具体的には家畜排せつ物、食品廃棄物、おがくず等の残材、刈草、剪定枝などを指します。

ウィスコンシン州はトウモロコシの一大産地であり、燃料用アルコールも盛んに製造されています。同州では2025年までに、州の輸送燃料・電力燃料について、バイオエタノールを含む再生可能燃料の割合を25%にするという目標を掲げ、積極的にバイオマスの利活用に取り組んでいるほか、食糧との競合を避けるためトウモロコシの茎などセルロースを原料にする研究にも取り組んでいます。

バイオマスを有効に利用することが地球の温暖化防止、ごみ減量にもつながるとされています。これから新聞等の見出しで見かけたら読んでいただき、バイオマスに関心を持っていただければ幸いです。

【編集後記】

ちば県民だより9月5日号の表紙を「銚子はね太鼓保存会」の皆様が飾りました。昨年10月、友好使節団として、訪れたウィスコンシン州マディソンで公演した際の勇姿です。堂本知事も先月、ミルウォーキーで開催された「第40回日本・米国中西部会 日米合同会議」に参加するとともに、マディソンでドイル知事と政策対話を行いました。何かとウィスコンシン州が話題となる昨今ですが、来月には、同州からの友好使節団が来県します。ウエルカムパーティー、フェアウエルパーティーなど、団員と直接お話しできる機会もあります。また、会員と県内在住外国人との交流の場であるバーベキューパーティーにも奮ってご参加ください。

お知らせ

会員の皆様にご案内していたウィスコンシンツアー(9月20日～26日)は、申込者が最少催行人員に達しなかったため、中止となりました。

本号は、執筆者のほかに森山茂男、阿部照夫、大浦京子、小野文弘が担当しました。

発行所：千葉ウィスコンシン協会

発行人：森山茂男

<http://www.chiba-wisconsin.jp/>

〒261-7114 千葉市美浜区中瀬2-6 WBGマリブイースト14階

(財)ちば国際コンベンションビューロー内

*電話でのお問い合わせ ☎043-223-2394(千葉県国際室)